

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	ボランティア活動支援事業		コード	担当課	企画課 企画振興班
			05-01-03-02	担当者	山口晋作
事業実施期間			電話	0869-64-1871	
総合計画 事業(政策)体系	大項目	住民主体の協働のまちづくり			
	中項目	住民主体で進めるまちづくり			
	小項目	ボランティア・NPO			
	施策	ボランティア活動の支援・促進			

事業について	「ボランティア支援センター」をボランティア活動の拠点とし、ボランティア活動登録や、ボランティア養成講座の開設等を行うことにより、ボランティア活動の推進と啓発を図る。	
対象 (誰のために)	ボランティア活動に関心のある方	
内容	ボランティア養成講座開設	

事業の結果	17年度		
実施項目	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
ボランティア養成講座開催回数	1 回		
ボランティア養成講座受講者数	14 人		
ボランティア養成講座延受講者数	14 人		

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	14	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	1,139	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	1,153	市債		合計	0	市債	

必要人員	0.12	人		人
結果指標名	ボランティア養成講座受講者数			
結果指標量	14			
単位	人			
対前年比	—		0.00%	
事業費	1,153,000	円		円
単位当たりコスト①	82,357	円		円

結果指標名	ボランティア養成講座延受講者数			
結果指標量	14			
単位	人			
対前年比	—		0.00%	
事業費	1,153,000	円		円
単位当たりコスト②	82,357	円		円

事業の成果			
成果指標名	ボランティア養成講座1回当り受講者数	式又は説明	延受講者数/開催回数
成果指標量	17年度		
対前年比	14		
到達目標値	前年を下回らない	到達目標年度	毎年度

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	ボランティア活動に対する社会ニーズの高まりを受け、養成講座を開設することにより、啓蒙事業の一環としてボランティア活動を支援することができる。
	対象の妥当性	
	市民ニーズの妥当性	
効率性の評価	市民ニーズの妥当性	市民ニーズに即した魅力のある内容の講座を提供することにより、市民の参加人数を増やす必要がある。
	市の関与の妥当性	
	コストの効率化	
有効性の評価	市民参画度	市内ボランティア団体やNPO法人に対し情報提供を積極的に行い、ボランティア活動の支援を有効的に推進する。
	目的達成度	
	成果向上の可能性	

総合評価	コメント	評価区分
	ボランティア講座を開催したが、受講者が少なく市民のニーズを捉えた魅力ある講座内容を検討して、行う必要がある。	<A~E> C

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合
翌年度結果指標量①	結果指標量②
目標値	成果指標量

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標とある成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。